

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：精神保健費

事業名 こころの健康支援費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内3313)

E-mail : c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 1,822 千円 (前年度予算額： 1,822 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 源
前年度	1,822	911	0	0	0	0	0	0	911
要求額	1,822	911	0	0	0	0	0	0	911
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

精神疾患は、適切な治療の継続により、その症状は相当程度安定化し、軽快又は治癒する病気であるが、国民の間で、精神疾患に関する基本的な認識は不十分である。

そこで精神疾患や精神障がい者に対する正しい理解の促進を図るため、あらゆる機会を通じて普及啓発を行う必要がある。

(2) 事業内容

ア：精神保健関係教室開催事業

精神疾患、依存症、ひきこもり等について、家族や県民を対象に最新知識や社会資源、精神障がい者の理解等について学習する機会を提供する。

イ：地域関係者研修会開催事業

精神障がい者を支援する関係機関を対象にした研修会を保健所で開催する。

ウ：退院精神障がい者支援事業

精神障がい者を抱える家族の悩みを共有し、また最新の情報を学ぶ機会を提供する。
(県家族会に委託)

エ：精神障がい者スポーツ大会

日頃、社会参加の少ない精神障がい者がスポーツを通じて人との関わり方を学ぶと共に体力向上と社会復帰をめざす。（障害者スポーツ協会委託）

(3) 県負担・補助率の考え方

国1／2 県1／2

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	350	研修会講師の報償
旅費	84	業務旅費、費用弁償
需用費	44	事務用品費
役務費	44	通信運搬費
委託料	1,300	県家族会への委託、障がい者スポーツ協会への委託料
合計	1,822	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

県下全域を対象とする事業であるため、県が実施することが妥当である。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

精神障がい者が地域で安心して生活できるために、地域住民の精神疾患や障がいに対する理解を促す。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
地域生活平均日数	319.2日	318.2日	324.4日以上	325.3日以上	325.3日以上	-

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<ul style="list-style-type: none">・精神保健関係教室開催事業、地域関係者研修会を各保健所において実施。 (7回開催、参加者149名)・退院精神障がい者支援事業を年3回開催。(参加者343名)・精神障がい者スポーツ大会(サイコリンピック) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
令和5年度	<ul style="list-style-type: none">・精神保健関係教室開催事業、地域関係者研修会を各保健所において実施。 (16回開催、参加者400名)・退院精神障がい者支援事業を年3回開催。(参加者251名)・精神障がい者スポーツ大会(サイコリンピック)(参加者89名)
令和6年度	<ul style="list-style-type: none">・精神保健関係教室開催事業、地域関係者研修会を各保健所において実施。 (16回開催、参加者490名)・退院精神障がい者支援事業を年3回開催。(参加者190名)・精神障がい者スポーツ大会(サイコリンピック)(参加者102名)

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	精神障がい者が地域で安心して生活できるためには、継続して理解を深めていく活動が必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	保健所、県家族会等による一般県民への普及啓発、関係機関との連携により実施することで、当事者の参加や地域住民の理解促進の機会となっており、有効な事業となっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県家族会への委託による研修事業等の実施により、当事者の視点を踏まえた効果的な事業展開ができている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

事業を継続し、県民の理解を深めていくことが必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

精神障がい者や家族の抱える問題をテーマとした研修会を実施し、県民の理解を深めると共に、精神障がい者やその家族など、当事者の視点を踏まえて地域で安心して生活できる社会を考えていく機会とする。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	